

# 同 盟 世 界 週 報

第 四 十 四 號 第 四 十 二 卷 號 (No. 1202) 昭 和 八 年 四 月 三 日 發 行



〔主 要 目 次〕

◎ 定 價 三 十 錢

英國は何故没落するか(時評)……………長谷川才次 六

國內概観 東亞概観 海外概観……………七

論 叢

世界戦局の現段階と對外思想戦……………松本重治 一〇

經濟學に於ける二つの陣營……………大河内一男 三

企業整備の現状と中小商業者……………今村武雄 五

特 輯

闘ふ各國の國民生活……………七

解説と翻譯

世界戦局の動き……………六 米英戦争目的の自壊作用……………完

アメリカ戦争經濟批判(高政(戰)争と化學……………四

昨年度英國經濟の回顧……………三 英國の戦後貿易策……………完

世界週報編輯部

法 人 同 盟 通 信 社 發 行

# 同 盟 報 週 界 世

(No.1203) 行發日十月四年八十和昭 號五十第 卷四廿第



〔主要目次〕

對支新政策の意義(時評)……………松田常雄 六

國內概觀…東亞概觀…海外概觀……………七

論 米國の世界政策……………加藤萬壽男 二〇

叢 國民所得の算定に就て……………迫水久常 三

參戰下支那經濟の分析……………☆特輯☆

中國經濟の基本動向……………四

新舊敵産の移管及び返還……………六

物資移動の自主的統制……………七

通貨統一と軍票の發行廢止……………九

解説と翻譯

世界戰局の動き……………三

中國國民に告ぐるの書……………汪 精 衛 三

新生比島の經濟……………バルマセタ 三

アメリカ戰爭經濟批判……………寺西五郎 三

反樞軸國の原料需給……………エコノミスト誌 三

東カサダの軍需生産と戰力……………イ・ソセンスキー 三

戰 事 通と信 化 學……………元

世界週報編輯部

定價三十錢

同 盟 通 信 社 法 團 行發

「國際經濟週報」改題

# 同盟世界週報

(No.1204) 行發日七十月四年八十和昭 號六十第 卷四廿第



〔主要目次〕

彼 我 の 戦 争 目 的 (時評) ..... 大屋久壽雄 六

國 内 概 観 ..... 東亞概観 ..... 海外概観 ..... 七

現 下 の 食 糧 問 題 ..... 片柳眞吉 〇

列 國 航 空 界 の 現 勢 ..... 木下春二郎 三

全 體 主 義 經 濟 體 制 の 具 體 的 提 題 ..... 根津知好 四

南 方 諸 地 域 の 財 政 を み る ..... 六

特 輯  
マライ・スマトラ・比 島  
東 印 度 ・ ビルマ ・ タ 伊  
佛 印 ・ インド ・ 濠 洲

解説と翻譯

世 界 戦 局 の 動 き ..... 三

イギリスは何を考へてゐるか ..... 三

獨 自 戦 を 繞 る 三 つ の 問 題 ..... 三

アメリカ戦争經濟批判 ..... 三

ドイツの歐大陸物價政策 ..... スイス紙 三

深刻化する通商破壊戦 ..... 三

戦争と信託學 ..... 四

世界週報編輯部

定價三十錢

同盟通信社發行 法人

# 同盟世界週報

(No.1205) 行發日四廿月四年八十和昭 號七十第 卷四廿第



〔主要目次〕

歐洲憲章の確立(時評)……………下條雄三 六

國內概観……東亞概観……海外概観……………七

☆論 ☆ 生産隘路の克服と國民組織……………西村二郎 一〇  
☆ 叢 東京都制實施の意義……………藤田武夫 三  
☆ 中國戰時經濟の方向……………瀧口義敏 四

## 交戦各國の産業轉換

特輯

ドイツ産業の變貌……………七

イタリヤ戰時産業の進展……………九

變換し行くアメリカの産業……………三

イギリスの生産管理強化す……………三

變轉するソ聯産業……………三

解説と翻譯

世界戦局の動き……………七

米英の戦後通貨對策をみる……………六

アメリカ戦争經濟批判……………三

米國におけるインフレの現状……………ファイナンシャル・ニュース 三

イギリス戰時財政の分析……………エリ・フレイム 三

英藏相の豫算演説……………元

戦争と信託學……………元

世界週報編輯部

定價三十錢

行發社信通盟同 團社法

# 同盟世界週報

(No.1206) 行發日一月五年八十和昭 號八十第 卷四廿第

ニユーギニアの開發(時評).....殿木圭一 六

國內概観.....東亞概観.....海外概観.....七

空襲と保險.....相馬敏夫 一〇

政治における理想と現實.....長島又男 三

## 決戦價格政策の展開

緊急物價對策の全貌.....六

新米價決定とその影響.....九

繭價引上と産繭確保.....三

生鮮食料品の價格對策.....三

銅と鋼材との價格改訂.....四

### 解説と翻譯

世界戦局の動き.....六

ドイツの公債増發限界論.....スイス紙 七

一九四二年の米國造船實相ストックホルム・齊藤正躬 元

アメリカ戦争經濟批判.....三

搾取されつゝあるアイルランド經濟.....ドイツ紙 五

最近の獨佛關係をみる.....六

如何にしてフランスは更生するか.....ベタン 七

戦争と化學.....七

定價三十錢

行發社信通盟同 團社 法人

# 同 盟 報 週 界 世

(No.1207) 行發日八月五年八十和昭 號九十第 卷四廿第

指導者精神の要求(時評).....大森吉五郎 六

國內概観.....東亞概観.....海外概観.....七

論 國防としての經濟.....酒枝義旗 二〇

叢 科學者の反省.....佐藤喜一郎 三

## 米英の戦後通貨案を衝く一特★★輯一

兩 通貨案の批判.....根津知好 五

米英は何故この問題をとりあげたか.....二五

モーゲンソー案の骨子.....二六

モーゲンソー案の狙ひとその運命.....二七

ケーンズ案の要領.....二八

ケーンズ案における金の地位.....二九

わが積極案の基本構想.....三〇

### 解説と翻譯

世界戦局の動き.....三三

ソ波斷交の渦紋.....三三

アメリカ戦争經濟批判.....三四

ソ聯經濟の二十五年.....ヴァルガ 三六

昭和十六年第四四半期索引.....三五

同 盟 通 信 社 發 行 團 社 法 人

定價三十錢

# 同 盟 報 週 界 世

(No.1208) 行發日五十月五年八十和昭 號十二第 卷四廿第

米英擊碎論の徹底(時評)……………原 奎一郎 六  
國內概観……東亞概観……海外概観……………七

論 生産決戦と技術……………相川春喜 二  
支那の輿論階級……………半谷高雄 三

## 南方地域の通貨と金融

特 大東亞金融圏の確立……………四  
金融機構の整備……………六  
軍票工作の進展……………八  
爲替送金の再開……………九

### 解説と翻譯

世界戦局の動き……………三  
行き悩む第二戦線……………三  
歐洲上陸作戦の考察……………三  
アメリカの西亞政策……………五  
イタリアの財政……………六  
アメリカ戦争經濟批判……………三  
貨幣數量説は終焉するか……………A・アモン 三  
決戦國家計畫の性格と特徴……………英

定價三十錢

行發 社信通盟同 團社 法人

# 世界同盟週報

第廿四卷 第廿一號 昭和八年五月廿二日發行 (No.1209)

翼壯運動の展開と課題(時評)……………倉田正一 六

國內概観……………東亞概観……………海外概観……………七

論  
南方圏の民族指導と科學……………平野義太郎 〇  
アメリカの機械工業……………豐崎 稔 三

## 歐洲戰局の現段階

決戰迫る歐洲戰線……………特 五

チユニジア戰の推移……………特 六

獨ソ戰の展望……………特 九

世界海空戰の現況……………特 三

### 解説と翻譯

世界戰局の動き……………元

米國勞働組合概観……………言

アメリカ戰爭經濟批判……………三

銅と戰争……………エム・リボフ 五

國家資金計畫と生活必需物動……………毛

【資料】……………國內事項……………東亞事項……………海外事項……………四

社団法人 同盟通信社 發行

定價三十錢



# 同盟世界週報

(No.1210) 行發日九廿月五年八十和昭 號二廿第 卷四廿第

山本司令長官(時論).....六

國內概観...東亞概観...海外概観.....七

論 戦争目的と思想戦.....新明正道二

叢 米國戦争インフレの新段階.....木村禧八郎三

重慶の抗戰態勢を抉る 特☆輯.....五

蔣政權と米英の援助.....五

財政經濟の窮乏.....六

### 解説と翻譯

世界戦局の動向.....九

印度問題の展望.....一〇

米英會談を繞る世界戦局の現状.....三

アメリカ戦争經濟批判.....七

長期戦と英國人口.....元

戦時ドイツの企業家精神.....H・シユタイン三

米國工業の弱點・ゴムと錫.....エム・リヴオフ三

交易計畫と醫藥計畫.....六

最近農家の動向.....六

【資料】...國內事項...東亞事項...海外事項.....四

● 定價三十錢

行發社信通盟同 團社法人

# 同盟世界週報

(No.1211) 行發日五月六年八十和昭 號三廿第 卷四廿第

必 勝 の 確 信 (時★論) 古野伊之助 六

國內概観…東亞概観…海外概観……………七

論 ☆ 南方文化の性格……………坂本徳松 二

☆ 叢 戦 争 哲 學 の 問 題……………飯倉龜太郎 三

## 歐洲中立諸國の動向

總 論……………四

特 伊ベリア半島の趨勢……………五

フ ラ ン ス の 立 場……………七

ト ル コ の 去 就……………八

ス エーデンの親獨的中立……………三〇

フ ィ ン ラ ン ド の 近 況……………三三

### ◇ 解説と翻譯 ◇

世 界 戰 局 の 動 向……………三三

反 樞 軸 の 食 糧 會 議 を 衝 く……………三六

シロートとドゴールとの對立問題……………三六

ビヅアリツチ案を繞る内紛……………R・シエーター 三九

アメリカ戦争經濟批判……………M・イーデルマン 三九

ソ聯抗戦力の背後をみる……………三九

決 戦 勞 務 勅 令 の 實 施……………三九

航 空 機 増 産 の 基 礎……………三九

戰 争 と 化 學……………四〇

【資料】 Ⅱ 國內事項…東亞事項…海外事項……………四〇

行發 社信通盟同 團社法

● 定價 三十錢

# 同 盟 報 週 界 世

(No.1212) 行發日二十月六年八十和昭 號四廿第 卷四廿第

新支那作戰の進展(時☆論).....六

國內概観.....東亞概観.....海外概観.....七

論 最近ラテンアメリカの動向.....高木廣一 一〇

業 企業整備の根本課題.....根津知好 三

## アメリカ生産力の現状

▽.....生産力の動向.....五

▽.....工作機械工業.....七

▽.....航空機工業.....八

▽.....造船工業.....〇

▽.....化學工業と農業生産.....三

### 解説と翻譯

世界戦局の動向.....四

米國政界の近狀.....五

アメリカ戦争經濟批判.....七

英國の戦時勞務問題.....チャールズ・マツヂ元 九

米國戦時貿易の變貌.....フアイナンシャル・ニュース 三

軍需資源黒色金屬スクラップ.....エム・ボクシツキ 三

企業整備の決戦態勢成る.....七

戦争と化學.....四

【資料】I 國內事項.....東亞事項.....海外事項.....四

特 輯

同 盟 通 信 社 發 行 法 團 人

定價 三十錢

# 同盟世界週報

(No.1213) 行發日九十月六年八十和昭 號五廿第 卷四廿第

敵宣傳の新傾向(時論).....六

國內概観...東亞概観...海外概観.....七

論 戰力培養の鍵鑰.....秦 嚴 夫 二〇

上海の地名にみる歴史と社會.....殿 木 圭 一 三

## イタリヤの決戰態勢

★内政の強化.....四

★國防の再編成.....六

★財政と國民經濟.....八

★戰時増産の現状.....九

### 解説と圖表

世界戰局の動向.....二

アルゼンチンの革命.....三

アメリカ戦争經濟批判.....四

反樞軸軍首腦を描く.....六

ドイツの新稅策と購買力吸收.....フランクフルト紙 六

米比通商史(一).....二〇

華商銀行の地位.....上海銀行週報 三

緊急食糧増産對策.....三

南支より歸りて.....菊江榮 一七

戰爭と化學.....元

【資料】—國內事項...東亞事項...海外事項.....四

定價三十錢

行發 社信通盟同 團社法

# 同盟世界週報

(No.1214) 行發日六廿月六年八十和昭 號六廿第 卷四廿第

大東亞宣言(時・☆・論)……………六

國內概観…東亞概観…海外概観……………七

論日本證券取引所の誕生……………田中 豊 〇

三 畫將來の國際經濟諸問題……………朝海浩一郎 三

## 交戰各國の總動員態勢

ソ	イ	ア	イ	ド
ニ	メ	タ	イ	
リ	リ	リ	リ	
ス	カ	ア	ツ	
聯	ス	カ	ア	ツ
〇	八	七	六	五

解説と翻譯

世界戰局の動き……………二

歐米工場防衛にみる生産力保全策……………三

ドイツ軍需生産の必勝陣……………ベーター・ワラー 二六

地中海の作戦基地……………フランクフルト紙 二七

アメリカ戰争經濟批判……………三

米比通商史(二)……………三

第八十二議會の成果……………三

【資料】 〓 國內事項…東亞事項…海外事項……………四

行發社信通盟同 團社法

定價三十錢

# 同 盟 世 界 週 報

(1215) 行發日三月七年八十和昭 號七廿第 卷四廿第

事變六周年を迎へて(時論).....四

|| 戦力増強企業整備の意義.....美濃部洋次 五

|| 露ルーズヴェルトを繞る問題.....加藤萬壽男 八

## 新中國六年の建設過程

特 飛躍發展の經濟界.....〇

中支通貨金融工作の進展.....三

戰時經濟機構の整備.....六

☆ 解説と翻譯 ☆

世界 戦局の動 静.....八

重慶要人連最近の動 静.....九

比島獨立問題の發 展.....三

米 比 通 商 史(CIC).....三

ドイツ金融機構の不振態 勢.....五

ドイツ軍需註文前拂制停止.....上 幹 德 七

アメリカ戦争經濟批判.....元

海 外 事 情【資料】.....二

定價 三十錢

行發 社信通盟同 團社法

「國際經濟週報」改題

# 同盟世界週報

(1216) 行發日十月七年八十和昭 號八廿第 卷四廿第

地方行政の戰時態勢化(時論)……………四

☆論☆ 農工兩全の道……………五

☆叢 上海租界の回收と今後の運営……………松田常雄 七

南方諸地域の工業建設……………〇

特 地域別概観・木造船  
織維・ゴム・製糖

製油・コブラ・苛性曹達  
製紙・洋灰・麻袋

解説と翻譯

世界戦局の動き……………八

印度を繞る二つの動き……………九

變貌する英國民の日常生活……………ピクチュア・ポスト誌 二

アメリカ戦争經濟批判……………三

ソ聯戰時經濟の主流……………イ・クジミノフ 二五

空軍は凡てを決す……………トレンチャード 二九

米比通商史(四)……………三

海外事情【資料】……………三

定價 三十錢

行發 社信通盟同 團社 法人

# 同盟世界週報

(1217) 行發日七十月七年八十和昭 號九廿第 卷四廿第

## 交戰各國の購買力吸收策

アメリカの反攻(時論)……………久保田藤麿 四  
 學徒動員態勢の確立(論叢)……………五

☆……輯=◇=特……☆

ソ	イ	ア	イ	ド	日
		ギ	メ	タ	
		リ	リ	リ	
		ス	カ	ア	本
聯				ツ	
……………	……………	……………	……………	……………	……………
八	六	四	三	〇	七

▽……解説と翻譯……△

世界戦局の動き……………三  
 米國インフレーションの危局……………ルースベルト教書 三  
 アメリカ戦争經濟批判……………六  
 歐洲空の決戦様相……………〇  
 海外事情【資料】……………三

● 定價 三十錢

行發 社信通盟同 團社 法人



# 世界週報同盟

第廿四卷 第卅號 昭和十八年七月廿四日發行 (1218)

協力會議と食糧問題(時論)…………… 四  
今次大戰と兵器(論叢)…………… 吉永義尊 五

## 滿洲國戰時經濟の趨勢

— 特 —  
金融新體制の確立…………… 七  
電力經濟法の制定…………… 一〇  
— 輯 —  
礦物増産體制の整備…………… 三

☆☆☆解説と翻譯☆☆☆

世界戰局の動き…………… 四  
アメリカ戰爭經濟批判…………… 五  
獨ソ戰線の展望…………… 七  
イギリスにおける國家と經濟…………… フランクフルト紙 三〇  
戰時造船とトーマス鋼…………… ドイツ技術協會報告 二一  
ソ聯戰時農業の任務…………… イ・ア・ベネチクトフ 二三  
西大西洋における油槽船ルート…………… J・K・チューリン 二六  
我國決戰政治の動向をみる…………… 二九  
米比通商史(五)…………… 三三  
海外事情【資料】…………… 三三

法 國 社 人 同 盟 通 信 社 發 行

●定價 三十錢



# 世界週報同盟

第廿四卷 第卅二號 昭和八年八月十七日發行 (1220)

學徒と航空決戦(時論)……………佐藤喜一郎 四  
敵性通貨の正體と圓の實力(論叢)……………瀧口義敏 五

## 華北經濟の建設過程

參戰以降の經濟編成替……………八  
資源の開發増送……………二  
食糧對策の推進……………四

### 解説と翻譯

世界戰局の動き……………六  
バドリオ元帥の横顔……………七  
フアシスト黨の解散……………八  
アラスカの化學工業資源……………〇  
米ソ勢力の西亞進出……………三  
工業立地の話(一)……………七  
企業整備と纖維産業の再編成……………元  
タイの生活革命……………大屋久壽雄 三  
海外事情(資料)……………三

社団法人 同盟通信社 發行

●定價 三十錢

大正九年十月九日創刊  
第一回土曜日出版

「國際經濟週報」改題

# 同 盟 報 週 界 世

(1221) 行發日四十月八年八十和昭 號三卅第 卷四廿第

ビ  
ル  
マ  
の  
獨  
立  
(時論).....四

論 統制會社の再整理.....根津知好 五

畫 生活簡素化論.....原奎一郎 六

## 決戰下のドイツ經濟

序 論.....八

安定せる財政と金融.....九

生産力の擴充.....二

統制強化と國民生活.....三

### 解説と翻譯

イタリヤの政變とその影響.....五

米國戰時財政の展望.....七

ドイツ物價問題の發展.....ノイエ・チユーリツヒア紙 三

ビ  
ル  
マ  
の  
戰  
時  
經  
濟.....三

工業立地の話(二).....六

本年上半年における會社合併狀況.....六

行政査察に隨行して.....言

海 外 事 情【資料】.....三

● 定價 三十錢

行發 社 信 通 盟 同 團 社 法 人

# 世界週報同盟

第廿四卷 第四號 昭和八年八月廿一日發行 (1222)

大西洋憲章の修正(時論)……………四

【論】印度と重慶……………太田三郎 五

【鑑】伊政變を繞る米英ソの不調……………井上勇 七

## 交戦各國の社會政策

本……………九

日……………二

ド……………三

イ……………四

ア……………六

イ……………ス

### 解説と翻譯

新上海の建設方策……………汪精衛 八

上海における綿絲布強制買上げ……………〇

戦局の新段階と歐洲中立國の動向……………三

東部戦線とシチリア戦局……………四

アメリカの太平洋作戦……………七

工業立地の話(三)……………〇

海外事情【資料】……………三

定價三十錢

法團 同盟通信社發行

# 同 盟 報 週 界 世

(1223) 行發日八廿月八年八十和昭 號五卅第 卷四廿第

敵の謀略を衝く(時論)……………三  
内 外 概 観……………四

論 航空機の多量生産……………相川春喜六

叢 三民主義と『中國の運命』……………殿木圭一八

## 抗戰二年ソ聯戦力の分析

☆序 論……………〇

☆軍 事……………〇

☆政 治……………三

☆外 交……………四

### ◆解説と翻譯◆

ビルマ獨立後の諸問題……………ラングーン・大屋久壽雄 一七

ケベック會談と反樞軸側作戰……………一九

敵國アメリカの解剖……………二

イタリアの新發足……………三

日本經濟の不敗態勢……………フランクフルト紙 二五

工業立地の話(四)……………七

第二次食糧増産對策……………九

セレベスの帆船……………海軍報道班員・吉田哲次郎 三

海外事情【資料】……………三

Ⓢ 定價三十錢

行發 社信通盟同 團社 人法

# 世界週報同盟

（1224）行發日四月九年八十和昭 號六卅第 卷四廿第

ケベック會談(時・☆・論)	三
内 外 概 観	四
論 人 と 機 構	六
米英ソ關係の變轉	八
加藤萬壽男	ハ

## 最近の印度を解剖する

印度問題の重點	一〇
軍事基地印度	二
戦争經濟の動向	三
政治社會狀況	四

### 解説と翻譯

南太平洋における戦局の動き	七
造船とヘンリー・カイザー	九
敵國アメリカ解剖(二)	三
ドイツ的生產様式	四
比島における土地制度	六
工業立地の話(五)	元
セレベスの香辛料	三
海外事情【資料】	三

行發 社信通盟同 團社法

●定價三十錢

# 世界週報同盟

（1225）行發日一十月九年八十和昭 號七卅第 卷四廿第

侵略者の發見と日本再認識(時論)..... 三  
内 外 概 観..... 四

論 國民動員の決戦體勢..... 國鹽耕一郎 六  
章 食糧自給と農地の改良..... 久保田明光 八

特

輯

アメリカの飛行機と船舶

決戦段階とアメリカの生産力..... 〇

航 空 機..... 三

船 舶..... 五

☆ 解説と翻譯 ☆

第二戦線問題の核心..... 七

敵國アメリカ解剖..... 二

ドイツの工作機械統制..... 三

變貌する英國の近狀..... 五

南方諸地域の作物轉換..... 七

工業立地の話(六)..... 八

海外事情【資料】..... 三

行發 社信通盟同 團社 人法

●定價二十錢



# 同 盟 報 週 界 世

(1226) 行發日一廿月九年八十和昭 號八卅第 卷四廿第

邁進たゞ一途(時論).....三

内外概観.....四

國土と民族精神.....江澤讓爾 六

戰力化の方向.....大森吉五郎 八

戰局の深化ミバルカン諸國.....一〇

特 序 論・ブルガリア

ルーマニア・ハンガリア

クロアチア・セルビア

ギリシア・トルコ

☆解説と翻譯☆

歐洲戰第五年に入る.....七

イタリヤ離反の經緯.....九

敵國アメリカ解剖(四).....三

大戰下のアルゼンチン經濟.....フランクフルト紙 三

工業立地の話(七).....五

紡績企業整備の前進.....七

マカッサルの古城.....海軍報道班員 吉田哲次郎 三

海外事情【資料】.....三

同 盟 通 信 社 發 行 社 法 人

定 價 三 十 錢

# 世界週報同盟

（1227） 行發日五廿月九年八十和昭 號九州第 卷四廿第

バドリオの降服と戦局の動向(時 ☆ 論)…………… 堀 義 貴 五  
内 外 概 観…………… 前 田 克 巳 六

論 叢 軍事費の趨勢と明年度豫算…………… 前 田 克 巳 六  
緊迫せる交戦國の食糧對策…………… 堀 義 貴 五

樞軸農業の強韌性…………… 堀 義 貴 五

特 輯  
ド イ ツ…………… 堀 義 貴 五  
ア メ リ カ…………… 堀 義 貴 五  
イ ン ド…………… 堀 義 貴 五  
イ タ リ ヤ…………… 堀 義 貴 五  
イ ン 中…………… 堀 義 貴 五  
カ ナ ダ…………… 堀 義 貴 五  
ソ 聯…………… 堀 義 貴 五

特 輯

ソ 聯…………… 堀 義 貴 五  
カ ナ ダ…………… 堀 義 貴 五  
イ ン 中…………… 堀 義 貴 五  
イ タ リ ヤ…………… 堀 義 貴 五  
イ ン ド…………… 堀 義 貴 五  
イ ン 中…………… 堀 義 貴 五  
カ ナ ダ…………… 堀 義 貴 五  
ソ 聯…………… 堀 義 貴 五

▽ 解説と翻譯 △

イタリヤの新狀勢と今後の問題…………… 堀 義 貴 五

ソ 聯 の 地 中 海 進 出…………… 堀 義 貴 五

佛 印 經 濟 の 現 況…………… ア ン ド シ ー ヌ 誌 二

敵國アメリカ解剖(五)…………… エ コ ノ ミ ス ト 誌 三

米國の過剩購買力吸收策…………… エ コ ノ ミ ス ト 誌 三

工業立地の話(八)…………… 吉 田 哲 次 郎 三

セレベスのコブラ…………… 海 軍 報 道 班 員 吉 田 哲 次 郎 三

海 外 事 情 【資料】…………… 堀 義 貴 五

行發 社信通盟同 國人 社法

◎ 定價 三十錢

# 同盟世界週報

(1228) 行發日二月十年八十和昭 號十四第 卷四廿第

學國蹶起の秋(時☆論).....三

内外概観.....四

論叢||必勝の報道言論.....宮本吉夫六

## 生産力増強の現段階

戦力増強の根本問題.....九

特 決戦生産行政の前進.....一〇

轉 航空機大量生産方式の確立.....一三

國內態勢強化方策.....一四

### 解説と翻譯

最近の重慶を抉る.....一六

ソ聯の宗教復興とその狙ひ.....一九

敵國アメリカ解剖(六).....二〇

亞國外相と米國務長官の交換書翰.....二三

没落に頻するランカンシア.....エノミスト誌 二五

ソ聯はなぜ第二戦線を要求するか.....ヴェ・セシミノフ 二七

工業立地の話(九).....元

スンバツ島を訪ねて.....海軍報道班員吉田哲次郎 三一

海外事情【資料】.....三三

定價三十錢

同盟通信社發行 社法人



# 同 盟 報 週 界 世

(1230) 行發日六十月十年八十和昭 號二十四第 卷四廿第

決戰機構の躍進……(時・論)……………三

内 外 概 観……………四

論 叢 戰 争 經 濟 學 の 政 治 へ の 要 請……………沖 中 恒 幸 六

交 戰 各 國 の 軍 需 生 産 機 構……………

日 本……………九

ソ 連……………七

イ ン ー ン……………五

ア ー ン……………三

ド ー ン……………二

解 説 と 翻 譯

現 地 住 民 の 政 治 參 與……………〇

激 闘 續 く 南 太 平 洋……………三

深 刻 化 を 迎 る 印 度 の 食 糧 危 機……………四

英 國 國 民 貯 蓄 の 諸 問 題……………エ コ ノ ミ ス ト 誌 二 五

敵 國 ア メ リ カ 解 剖 (八)……………七

米 國 政 府 機 構 改 革 の 意 味……………元

ウ ィ シ ー と ア ル ジ エ……………〇

海 外 專 情 (資 料)……………三

定 價 三 十 錢

行 發 社 信 通 盟 同 團 社 法

# 世界週報同盟

第廿四卷 第四十三號 昭和八年十月廿三日發行 (1231)

戰爭・外交・宣傳(時論)……………三

內 外 概 觀……………四

一論…☆…葦二決戰下の工作機械需給問題……………豐崎 稔 六

||斷想||切 腹……………古野伊之助 七

## 東亞における新國家の生誕

☆…序 論……………九

☆…ピ ル マ 國……………一〇

☆…比 島 共 和 國……………一五

### 解説と翻譯

ラウレル大統領素描……………九

三 國 外 相 會 談……………一〇

敵國アメリカ解剖(九)……………一三

赤軍戦力の示唆するもの……………一五

運輸通信省と農商省の課題……………一六

敵の謀略攻勢と我對敵思想戦線……………一七

海 外 事 情【資料】……………一三

發行 社信通盟同 團社 法人

定價 三十錢

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
 毎週一冊土曜日發行

「國際經濟週報」改題

# 同 盟 報 週 界 世

(1232) 行發日卅月十年八十和昭 號四十四第 卷四廿第

重産協と軍需會社法(時☆論).....三

内 外 概 観.....四

斷◇◇想.....家.....古野伊之助七

論 智慧と信念との相違.....大屋久壽雄六

上海開港百周年.....殿木圭一八

## 増産に邁進する滿洲國農業

特 緊急農産物増産方策.....〇

農業統制政策の展開.....三

輯 開拓増産の現状.....五

▽解説と翻譯△

獨ソ戦局の展望.....八

敵國アメリカ解剖(10).....〇

アメリカの宣傳通信網.....三

戦争と敵國海運界.....スエーデン誌三

翼賛會第三次改組の意義.....六

軍需會社法案の内容.....六

セレベスの原住民.....海軍報道班員 吉田哲次郎 三

海外事情【資料】.....三

定價 三十錢

同 盟 通 信 社 發 行 法 團 人

# 同盟世界週報

(1233) 行發日六月一十年八十和昭 號五十四第 卷四廿第

## 秋季增大號

重慶抗戰經濟の破綻(時論)	三
内 外 概 観	四
二論 新農業團體の運営	六
東 浦 庄 治	六
隨 想 米 の 應 召	七
古 野 伊 之 助	七
交戰國の人的資源動員	九

特 輯	序 論	ド イ ツ
ア メ リ カ	イ ギ リ ス	
カ ナ ダ	豪 洲	
印 度	ソ ン	

### 解説と翻譯

三 國 外 相 會 談 と 西 亞	三
米 英 ソ の 相 互 經 濟 援 助	三
イ ギ リ ス の 戰 時 家 庭 内 職	三
エ コ ノ ミ ス ト 誌	三
英 國 戰 時 經 濟 分 析 (一)	六
エ リ ・ エ ヴ エ ン ト フ	六
敵 國 ア メ リ カ 解 剖 (一)	六
印 度 假 政 府 の 成 立	三
第 八 十 三 臨 時 議 會 の 成 果 を 顧 み て	三
日 華 同 盟 條 約 と 新 舊 兩 條 約 の 差 異	三
海 上 決 戰 物 語 (一)	三
☆ バ ド リ オ 裏 切 の 全 貌 ☆	三
ド イ ツ 軍 最 高 司 令 部 公 表 四	三
海 外 事 情 【 資 料 】	三

行發 社信通盟同 團人社法

特價四十五錢



「國際經濟週報」改題

# 世界週報同盟

第廿四卷 第四十六號 昭和八年十一月十三日發行 (1234)

大東亞會議(時論).....三

內外概観.....四

隨想切観.....六

豫備金及豫算外契約論.....中村三之丞

日支問題と米國.....加藤萬壽男

## 歐洲要塞ミドイツ國防體制

歐洲要塞の解剖.....三

國防國家體制.....五

### 解説と翻譯

華北經濟參戰の現況.....七

躍進する南方の自給力.....六

イギリスの將來.....W・R・イング

英國の戰時經濟分析(二).....エリ・エヴェントフ

米國の輿論調査.....六

海上決戰物語(二).....三

海外事情(資料).....三

定價三十錢

法人社團 同盟通信社發行

# 同盟世界週報

(1235) 行發日廿月一十年八十和昭 號七十四第 卷四廿第

戰 争 目 的 (時 論)..... 三	內 外 概 觀..... 四	隨 想 『ボース氏と捨石』..... 小畑忠夏 七	論 『最低生活について』..... 長沼弘毅 六	叢 論 『大東亞會議と國民運動』..... 飯倉龜太郎 八	<b>米國の帝國主義外交攻勢</b>	總 論..... 九	特 稿 『汎米政策の行詰』..... 一〇	東 亞 把 握 の 野 心..... 一三	對 歐 ・ 西 亞 攻 勢..... 一四	對 英 ・ ソ 攻 勢 分 析..... 一六	解 說 と 翻 譯	南 太 平 洋 の 大 戰 果..... 一八	モ ス ク ワ 會 談 の 成 果..... 二〇	大 統 領 食 糧 教 書 批 判..... 二二	英 國 の 戰 時 經 濟 分 析 (二)..... エリ・エヴエントフ 二五	歐 洲 第 二 戰 線 の 問 題..... エム・ガラクチオーノフ 二七	海 上 決 戰 物 語 (二)..... 三〇	海 外 事 情 (資 料)..... 三三
----------------------	----------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------------	--------------------	------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------------	-----------	-------------------------	---------------------------	---------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------	-----------------------

行發 社信通盟同 團社法

定價三十錢

大正九年十月九日第三種郵便物認可  
毎週一、四、土曜日發行

「國際經濟週報」改題

# 世界同盟週報

第廿四卷 第四十八號 昭和十八年十一月廿七日發行 (1236)

大戦果に應へる途(時論).....三

内外概観.....四

論叢日本計畫經濟の動向.....杉山清六

隨想事.....古野伊之助七

疎開對策とその現状.....九

☆...輯=△=特...☆

總論 日本  
ドイツ 英吉利ス  
ソ聯

☆...解説と翻譯...☆

ドイツの經濟指導者.....六

イタリヤ・その後.....八

カイロ會談とトルコ.....二

アメリカ内政問題について.....三

英國の戰爭經濟分析(四).....エリ・エヴェントフ五

木製機生産上の諸問題.....七

海上決戰物語(四).....三

海外事情【資料】.....三

定價三十錢

同盟通信社發行 法人團體

# 同盟世界週報

（1237） 行發日四月二十年八十和昭 號九十四第 卷四廿第

一 億出陣（時論）……………三

内外概観……………四

★論★ 戦争と榮養……………六

★叢★ 香港の建設……………小椋廣勝

▽隨想△ 有線時代懷古……………下村海南

## 大東亞戦争二周年と内外情勢

大東亞建設の理念と實踐……………四

東亞建設の足跡……………五

太平洋戦局……………六

決戦政治の推進……………八

計畫經濟の整備……………九

世界情勢概観……………三

☆解説と翻譯☆

レバノン事件の背後關係……………四

米國食糧助成金問題……………六

ドイツ戦時經濟の優越性……………小ノンホフルツフ

英國の戦時經濟分析（完）……………エリ・エウエントフ

海外事情【資料】……………三

停定價三十錢

行發 社信通盟同 團社法

「國際經濟週報」改題

# 同盟世界週報

(1238) 行發日一十月二十年八十和昭 號十五第 卷四廿第

「二つの世界」を読む(時論)……………三

内外概観……………四

日本の勤勞體制(論叢)……………三輪壽壯……………六

思想 指揮官機の自爆……………古野伊之助……………七

## 汎米政策の解剖

☆假面のモンロー主義……………九

☆中南米侵略史……………一〇

☆資源獨占と戰爭準備……………二

☆米洲裝備の現状……………三

### 解説と翻譯

米國の戰爭目的論(上)……………ウイルキー……………三

アムゴットの正體(上)……………エリ・ヴォルインスキー……………四

ギルバート沖航空戰の特質……………五

冬を迎へた獨ソ戰線……………七

支那移民禁止法撤廢とその欺瞞性……………九

米國戰爭經濟第三年……………七

セレベスの米……………九

海上決戰物語(五)……………三〇

海外事情【資料】……………三三

Ⓢ 定價三十錢

行發 社信通盟同 團社法

# 同盟 世界週報

(1239) 行發日八十月二十年八十和昭 號一十五第 卷四廿第

昭和十八年の回顧(時論).....三  
内外概観.....四

論☆航空決戦の新段階.....木下春二郎六  
現代學生論.....中野好夫七  
隨想.....古野伊之助七

## 交戦各國の交通行政機構

ド	イ	ア	ソ
イツ	ギリス	メリカ	聯
.....	.....	.....	.....
二〇	二	三	四

### 解説と翻譯

カイロ會談とテヘラン會談.....八
最近支那大陸戰線の特質.....五
海鷲羽搏く中部太平洋戰局.....六
米國の戰爭目的論(下).....ウイルキー三
アムゴットの正體(下).....エリ・ウォルインスキー三
英國の石炭不足問題.....三
米國の増産獎勵金制度.....六
海上決戦物語(六).....三
海外事情【資料】.....三

同盟通信社發行 法人

定價三十錢